

MUTOH

2018年度(第70期)

報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



MUTOHホールディングス株式会社



証券コード 7999

■株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、2018年度（第70期）報告書をお届けし、当年度の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 早川 信正

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

■事業の経過および成果のご説明

当連結会計年度における世界経済環境は緩やかな回復基調ながら、米国の保護主義政策による貿易摩擦の影響、英国のEU離脱問題、中国の景気の減速傾向など、不透明な状況が続いております。国内経済においては、雇用情勢の改善と消費者マインドの持ち直しなどにより緩やかな回復基調が続きましたが、輸出は鈍化傾向にあり景気に足踏み感がみられます。

このような状況の中、当社グループは、経営体質を抜本的に強化するため、開発・生産・販売にわたる業務プロセス改革、仕組み改革を実施し、将来にわたる収益力向上に取り組んでおり、その効果が表れはじめております。

大判インクジェットプリンタにおいては、既存市場における大手資本の参入による競争激化により、製品価格の下落が一層進行する中、汎欧マーケティング施策の一元化、物流改革などを推進すると同時に、成長分野と位置付けるテキスタイル・インダストリアル市場を対象とした新製品開発を進めております。

MUTOH純正LED-UVインク「US11インク」が、世界で最も厳しい基準を持つ揮発性有機化合物の排出測定試験に基づいた認証プログラムである、UL GREENGUARDにおいてGOLD認証を取得しました。このインクに対応しているLED-UVハイブリッドインクジェットプリンタの「VJ-1638UH」は、アメリカの大判デバイス専門誌Wide Format & Signage Magazineによる“2018年読者が選ぶTop Product Awards”を2017年に続き2年連続で受賞いたしました。MUTOHは環境に責任を持てる製品づくり、安全で高品質の製品をお客様に提供することをお約束します。

3Dプリンタにおいては、製品では「Value 3D Resinoid MR-5000」で実現した独自の材料複合技術「Bi-Matrix」が、複数の学会論文に使われ応用範囲の拡大に期待が持たれています。造形マテリアルでは、食品加工工程用治具にも応用可能な、旭化成製「テナック」を使用したPOM（ポリアセタール）素材のフィラメントを共同開発し、造形モデルの可能性を広げました。また、当社は3Dプリンタの新しいデータフォーマット「FAV」のJIS原案委員に参画しております。MUTOHは、製造業の3DPソリューション・パートナーとしてお客様の期待にお応えいたします。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は192億2百万円（前年度比4.2%減）、営業利益は1億60百万円（前年度比0.4%増）、為替差損益の前年増減による損失影響額1億4百万円により経常利益は2億34百万円（前年度比31.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、前年度は米国の法人税制改正による税率変更などによる繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額が4億30百万円発生した影響により3億37百万円の損失となりましたが、当年度は64百万円の利益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、前年度と同額の1株当たり35円00銭を継続させていただきます。

次年度に向けては、成長性と収益性をともに確保できる事業構造への転換を加速してまいります。

皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくご依頼申し上げます。

連結決算ハイライト

○売上高
2018年度（第70期） **19,202** 百万円

2015年度 **23,449** 百万円 2016年度 **20,493** 百万円 2017年度 **20,048** 百万円

○営業利益
2018年度（第70期） **160** 百万円

2015年度 **689** 百万円 2016年度 **183** 百万円 2017年度 **160** 百万円

○経常利益
2018年度（第70期） **234** 百万円

2015年度 **622** 百万円 2016年度 **199** 百万円 2017年度 **341** 百万円

○親会社株主に帰属する当期純損益
2018年度（第70期） **64** 百万円

2015年度 **148** 百万円 2016年度 **△113** 百万円 2017年度 **△337** 百万円

○総資産額
2018年度（第70期） **28,907** 百万円

2015年度 **31,701** 百万円 2016年度 **30,514** 百万円 2017年度 **29,898** 百万円

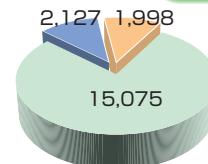
○純資産額
2018年度（第70期） **22,272** 百万円

2015年度 **23,917** 百万円 2016年度 **23,484** 百万円 2017年度 **23,019** 百万円

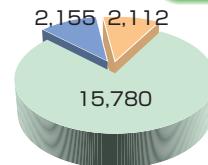
当年度事業別セグメント 売上高（百万円）

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
設計計測機器事業・不動産賃貸事業
ならびにその他の事業

・2018年度 **19,202** 百万円



・2017年度 **20,048** 百万円



・2016年度 **20,493** 百万円



次年度の 業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	19,800	140	150	100

単位：百万円 (2019年5月15日公表値)

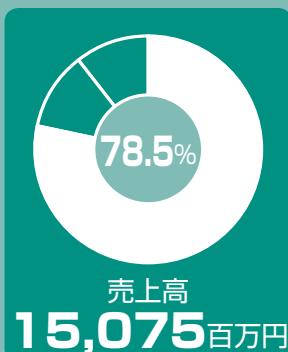
世界経済は、欧米を中心に緩やかな拡大傾向を示しておりますが、米中貿易摩擦問題による影響、英国のEU離脱問題など、先行き懸念要素は払拭されておりません。

このような状況の中、主力の大判インクジェットプリンタにおいては、製品構成を成長市場へシフトするための開発投資を強化し、新プラットフォームでの新製品シリーズ立ち上げを開始します。販売活動では、成長分野での拡大と高収益が期待できる欧米並びに日本市場を中心に構造改革を推進し販売力を強化するとともに、中国・韓国をはじめとするアジア市場については収益性向上に取り組んでまいります。

3Dプリンタにおいては、産業用途、教育機関、デンタル・ジュエリーなどの新業態への販売活動を強化し、付加価値の高いソリューションを提供することにより収益力強化を図ってまいります。

事業セグメントの概況

情報画像関連 機器事業



アジア地域においては、中国・韓国の景気減速の影響を受け販売は減少したものの、収益力向上に向けた取り組み効果により増益となり、売上高60億94百万円（前年度比2.8%減）、セグメント利益41百万円（前年度は2億68百万円の損失）となりました。

北米地域においては、厳しい市場競争による価格下落の影響により、売上高32億98百万円（前年度比4.4%減）、セグメント利益77百万円（前年度比11.7%減）となりました。

欧州地域においては、販売価格の下落の影響、西ヨーロッパでの販売減により、売上高56億82百万円（前年度比6.2%減）、セグメント利益1億6百万円（前年度比62.4%減）となりました。

情報サービス 事業



情報サービス事業においては、CAD事業・システムソリューションサービス事業などの既存事業の販売を中心にほぼ前年並みに推移したものの、一部の請負案件でのコスト増により減益となり、売上高21億27百万円（前年度比1.3%減）、セグメント利益1億15百万円（前年度比21.8%減）となりました。

設計計測機器事業 不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



設計計測機器事業においては、販売は若干減少したものの、収益性向上施策の取り組み、販管費の削減等により増益となり、売上高13億13百万円（前年度比3.9%減）、セグメント利益2億27百万円（前年度比78.0%増）となりました。

不動産賃貸事業においては、一部物件の売却により販売は減少したものの、販管費の削減等により、売上高3億14百万円（前年度比9.7%減）、セグメント利益2億16百万円（前年度比13.0%増）となりました。

その他の事業においては、販売の減少傾向と仕入原価が上昇した影響により、売上高3億71百万円（前年度比6.9%減）、セグメント損失38百万円（前年度は24百万円の損失）となりました。

MUTOH純正LED-UVインク『US11インク』 米国環境基準 GREENGUARD GOLD 認証を取得

MUTOH純正LED-UVインク『US11インク』がGREENGUARD GOLD認証を取得いたしました。

UL GREENGUARDは、世界で最も厳しい基準を持つ揮発性有機化合物（VOC）の排出測定試験に基づいた認証プログラムです。室内空気質の改善に効果のある化学物質低放散インテリア製品を見いだすために、設計のプロフェッショナル、消費者、その他関係者によって最も広く使われているリソースです。GREENGUARD認証およびGREENGUARD GOLD認証を与えられた製品は、通常の使用において化学物質の放散が基準値以下であると認められたことになります。

MUTOHは、環境に責任を持てる製品づくりに取り組んできました。当社の製品開発プロセスにおいて、業界標準に従うことにより安全で環境にやさしい高品質の製品をお客様に提供することを約束します。

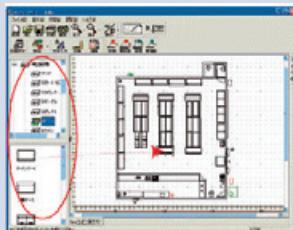


『US11インク』は、MUTOHの多目的商業印刷用途のUVプリンタ専用開発されました。様々な素材に印刷することができ、インクの硬化後、折り曲げ加工するアプリケーションにも対応できるように設計されています。

【対応プリンタ】
『VJ-1638UH』
『VJ-1638UR』
『VJ-626UF』
『VJ-426UF』

レイアウト&配線シミュレーションソフト 『パット&レイアウト』Windows 10対応版

CADの知識は一切不要で、部品を選んでドラッグ
&ドロップだけの簡単操作でレイアウト作成!



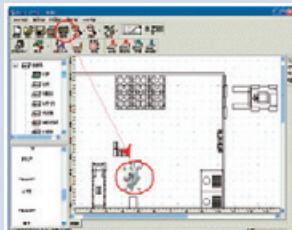
部品の配置

1.外壁の配置

建物の外枠となる外壁を配置します。外壁の形状は、多角形や曲線等豊富に取り揃えております。

2.部品の配置

外壁の内外部に必要な部品（家具・用品）を配置します。部屋・柱といった部屋内部、また外部に配置できる部品の数は500以上で、多岐にわたるパーツをご用意しています。



画像の配置

3.配線シミュレーション

配線モードにし、電話線またはLANケーブルを部品より選んで配線します。配線をダブルクリックすると配線の長さを表示します。

4.画像の配置

画像ボタンから画像を取り込み、配置できます。画像を部品として使用することで、表現をより豊かにすることができます。

5.距離・面積の算出

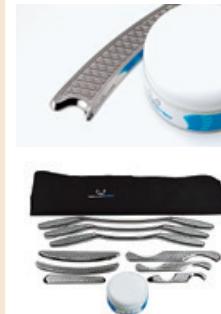
距離測定ボタン、面積測定ボタンから距離・面積を算出できます。

IASTM(軟部組織のモビリゼーション)用ツール 『HawkGrips(ホークグリップ)』を発売

IASTMは、器具を使用した柔らかい組織のモビリゼーションのことで、皮膚を擦り血流を刺激して老廃物を流すという身体を傷つけない治療法で、筋膜リリースとも呼ばれる補助マッサージの一種です。

『HawkGrips』(米国製)は、IASTM用に特別にデザインされた器具で、身体の軟組織の癒着や異常をなだらかにし、運動範囲の改善や痛みを軽減に役立ちます。

- ◆ 手術グレードのステンレススチール製で、臨床医や患者の意見を取り入れた設計で多様な形状と様々なサイズをラインアップ!
- ◆ グリップには滑りにくいクロスハッチ形状を採用し、セラピストの疲労やスリップを軽減!
- ◆ 海外ではNBAやMLBなどでも使用!
- ◆ 日本でもプロ野球やJリーグ・Bリーグなどのプロのチームも使用!



『HawkGrips』使用例

使いやすさと機能性を最大限に発揮するカッティングプロッタ 『ValueCut』シリーズに『ValueCut II』が新登場

高精度なカッティングと高い生産性を実現する『ValueCut』シリーズをバージョンアップさせた『ValueCut II』は、使いやすさと機能性を最大限に発揮するカッティングプロッタです。さらに、MUTOH大判インクジェットプリンタ『ValueJet』シリーズと組み合わせることにより、低価格で高機能な「プリント&カットシステム」としてご利用いただけます。

『ValueCut II』の機種構成

- 『VC2-600』 : 最大カット幅 610mm (スタンド&メディアバスケットはオプション)
- 『VC2-1300』 : 最大カット幅1,320mm (スタンド&メディアバスケット標準)
- 『VC2-1800』 : 最大カット幅1,830mm (スタンド&メディアバスケット標準)

- ◆ デジタル画像上に記したマークを読み取ることで、正確な輪郭カットを実現する輪郭カットシステム (AAS II) を標準搭載。4点補正機能、メディア装着方向自動検出、MUTOH独自の長尺セグメントカット機能に、連続輪郭カット機能を追加。同じデータの輪郭カット作業を1度のデータ送信で繰り返し行うことが可能です。(用紙送り方向のみ)
- ◆ 従来機から受け継がれたカッティングスピードはクラス最高の毎秒1,530mm。優れたパフォーマンスで生産性を高めます。
- ◆ 5gから最大600gのカット圧が選択可能で、微細で薄い素材からカット圧が必要な厚い素材まで対応し、最適なカット圧で使いやすさを追求しています。
- ◆ 3種類のインターフェースを搭載。USB、シリアルポート (RS-232C) に、新たにイーサネットを備えたトリプルポート接続で様々なシステム環境をサポート。イーサネット接続であれば、PC設置場所環境の制限がなくなり、また、複数台の『ValueCut II』を1台のPCで操作することが可能です。
- ◆ メディアに合わせてペンアップ移動の加速度を2段階で設定可能。滑りやすいメディアには、設定加速度を下げることでメディアのズレを軽減することができ、また、輪郭カットのトンボ検出移動スピードもこのペンアップスピード・ペンアップ加速度に合わせて調整可能です。
- ◆ 用紙センサー無効機能を新たに搭載し、プラテン上の用紙センサーの設定を無効にすることで透明なメディアに対応します。
- ◆ 『ValueCut』専用カッティングソフトウェア (FlexiSTARTER ValueCut Edition) を標準添付。デザインソフトがなくても、カットデータやプリントカットデータを作成することができ、作成したデータを『ValueCut II』で簡単にカットすることが可能。また、デザインソフトウェアで作成したデータをFlexiSTARTERに取り込み、自動でカットラインやトンボを付加してカットすることも可能です。



ValueCut II

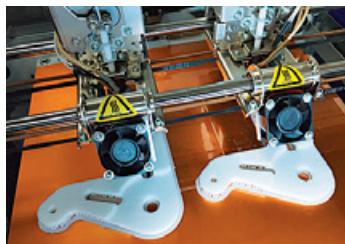
VC2-600/VC2-1300/VC2-1800

POMなどエンジニアリングプラスチック対応 高温デュアルヘッド搭載 FDM方式3Dプリンタ『MF-2500EP II』を新発売

『MF-2500EP II』は、300℃対応の高温ヘッドを搭載したエンジニアリングプラスチック対応FDM（熱溶解積層）方式3Dプリンタの最上級機種です。造形サイズもX軸300×Y軸300×Z軸300mmと、大型造形物を自社製高温デュアルヘッドを使って高速に出力可能です。



2種類の材料による造形



デュプリケートモードでの出力

また、それぞれのヘッドに別々のマテリアルフィラメントを装填することで、芯材と表面材料を使い分け、造形製造にかかるコストを低減することや、2色造形などご利用用途がさらに広がります。

さらに、「デュプリケート」機能を搭載したことにより、造形テーブルの幅を二分割し二つのヘッドが同時に稼働し、1種類の造形を二つ同時に作成することで、造形時間の短縮にも役立ちます。

（デュプリケート時の造形サイズは、X軸150×Y軸300×Z軸300mm）

『MF-2500EP II』の発売に合わせて、新しいエンジニアリングプラスチック材料として、旭化成製「テナック」を使用したPOM（ポリアセタール）フィラメントを同時発売。

高温対応ヘッドを持つ『MF-2500EP II』が、POMの安定した造形を可能としました。提供を開始するPOMは、食品安全に関する溶出試験もクリアしている素材で、厚生労働省告示やFDA、欧州委員会規則等の規制に適合しており、食品加工工程にも使用できる材料です。

POMは強度も高く、滑り性が良い材料のため、傷が入りやすい部品に対する置台などに有効です。さらに、吸水が小さく、耐溶剤性、耐油性も優れており、切削加工等のクーラントに対しても安定しています。（POM使用時には、造形物とテーブルの接着性確保のため3Dプリンタ用シート「BuildTak」が必要）



**Value
3D MagiX**

MF-2500EP II



POMフィラメント

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	年度別	
	当年度 2019年3月31日現在	前年度 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,275	17,978
現金及び預金	8,102	9,441
受取手形及び売掛金	3,718	3,857
たな卸資産	3,598	3,810
その他	855	868
固定資産	12,632	11,919
有形固定資産	8,020	8,436
無形固定資産	521	298
投資その他の資産	4,089	3,184
投資有価証券	3,699	2,697
その他	389	487
資産合計	28,907	29,898

(単位：百万円)

科目	年度別	
	当年度 2019年3月31日現在	前年度 2018年3月31日現在
負債の部		
流動負債	4,379	4,910
支払手形及び買掛金	2,483	2,843
その他	1,895	2,067
固定負債	2,255	1,968
退職給付に係る負債	1,881	1,566
その他	374	401
負債合計	6,635	6,878
純資産の部		
株主資本	23,908	24,004
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	11,967	12,062
自己株式	△ 2,440	△ 2,439
その他の包括利益累計額	△ 2,390	△ 1,815
非支配株主持分	753	830
純資産合計	22,272	23,019
負債・純資産合計	28,907	29,898

■ 連結株主資本等変動計算書

当年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2018年4月1日残高	10,199	4,182	12,062	△ 2,439	24,004	△ 1,815	830	23,019
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 159		△ 159			△ 159
親会社株主に帰属する当期純利益			64		64			64
自己株式の取得				△ 1	△ 1			△ 1
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△ 574	△ 76	△ 650
連結会計年度中の変動額合計	-	△ 0	△ 94	△ 1	△ 95	△ 574	△ 76	△ 746
2019年3月31日残高	10,199	4,182	11,967	△ 2,440	23,908	△ 2,390	753	22,272

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	年度別	当年度	前年度
		自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日	自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日
売上高		19,202	20,048
営業利益		160	160
経常利益		234	341
税金等調整前当期純利益		194	437
親会社株主に帰属する当期純損益		64	△ 337

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

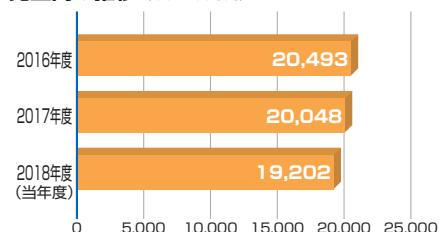
(単位：百万円)

科目	年度別	当年度	前年度
		自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日	自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月 31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		198	1,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,333	△ 529
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 214	△ 309
現金及び現金同等物の増減額		△ 1,339	891
現金及び現金同等物の期首残高		9,441	8,556
連結の範囲の変更に伴う増減額		-	△ 6
現金及び現金同等物の期末残高		8,102	9,441

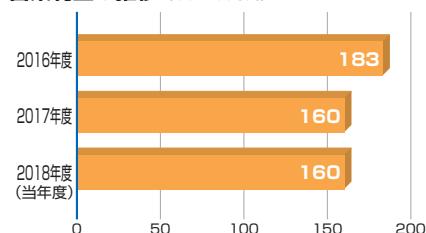
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーアメリカ社・ムトーヨーロッパ社・ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーオーストラリア社
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・武藤工業(株)・(株)ムトーフィギュアワールド
設計計測機器事業	武藤工業(株)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンタープライズ

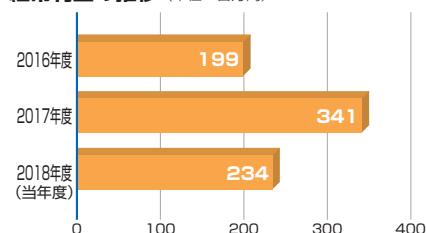
売上高の推移 (単位：百万円)



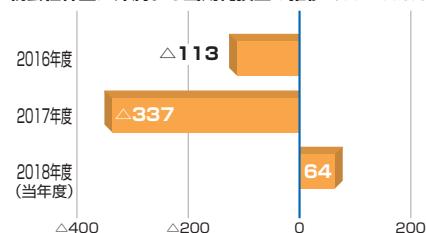
営業利益の推移 (単位：百万円)



経常利益の推移 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純損益の推移 (単位：百万円)



会社の概要 (2019年6月27日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)

設立 1952年(昭和27年)3月5日
(創業:1942年(昭和17年)12月)

資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
TEL:03-6758-7100(代)

主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理

ホームページ <https://www.mutoh-hd.co.jp>

MUTOHグループ会社



役員 (2019年6月27日現在)

取締役会長	坂本俊弘	取締役	加藤晃章	取締役監査等委員	遠藤孝一
代表取締役社長	早川信正	取締役	世羅政則	取締役監査等委員	蓑口弘典
常務取締役	磯邊泰彦	取締役	小林裕輔	取締役監査等委員	飛田博
取締役	鴨居和之	取締役	高山芳之		

株式の状況 (2019年3月31日現在)

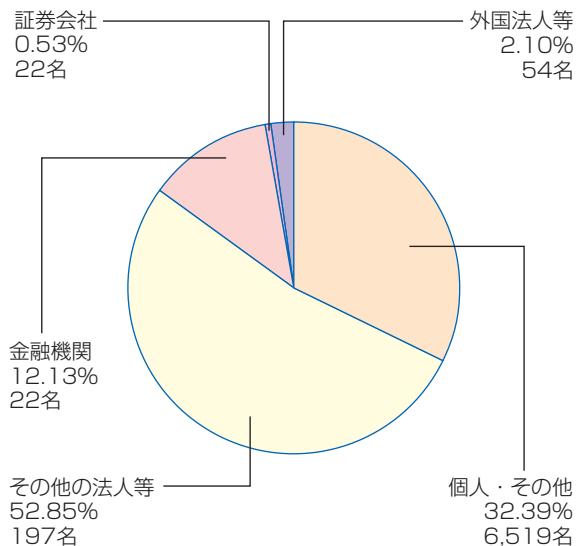
■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式総数	5,481,818株
■ 1単元の株式数	100株
■ 株主数	6,814名

■ 大株主の状況

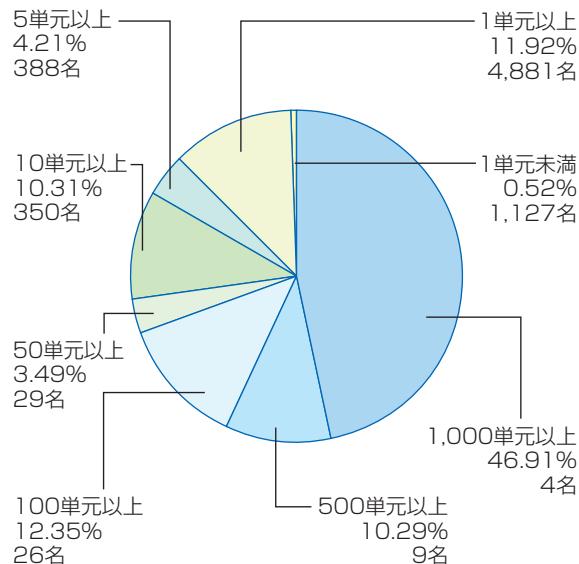
株主名	所有株式数(株)	株式比率(%)
TCSホールディングス株式会社	1,322,000	29.05
三井住友信託銀行株式会社	210,700	4.63
株式会社みずほ銀行	107,139	2.35
ユニシステム株式会社	92,300	2.03
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	82,000	1.80
公益社団法人日本設計工学会	68,058	1.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	64,400	1.42
戸田 智之	60,000	1.32
堀 啓一	59,100	1.30
ハイテクシステム株式会社	56,100	1.23

(注) 1. 当社は自己株式931,449株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別分布状況



◆所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載
<https://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

ご注意

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

